

平成30年 10月 31日 (水)
 5年 男子2名 女子3名 計5名
 6年 男子3名 女子3名 計6名
 指導者 徳永 理恵

1 単元名 ようこそ奄美大島へ ～笠利町の魅力を紹介しよう～

2 教材名 We can! 2 “This is ME!” “Welcome to Japan.” “I like my town”

3 単元について

(1) 単元の位置とねらい

これまでに子どもたちは、「Hi, friends! 1」を用いた学習や第4学年時の外国語活動の学習を通して、英語での挨拶の仕方や自己紹介の仕方について慣れ親しんできている。また、「Hi, friends! 2」及び「We can! 1」において「できること (can)」について尋ねたり答えたりする活動や、道案内をする活動にも取り組んできた。子どもたちは、こうした学習を通して、簡単な自己紹介や道案内であれば、自分たちの力で実際に外国の人とコミュニケーションを取れるかもしれないという自信を少しずつもち始めている。また、6月初めに行われたテキサス州ナカドゥチェス市の中学生との交流会を通して、これまで以上に外国語活動の必要性を感じ、「もっと外国の人とスムーズに会話やコミュニケーションを行うことができるようになりたい」「もっと自分たちのことを伝えたい」「自分たちの住む地域のことを英語で表現したい」という思いを強くもつようになった子どもも多い。

この単元では、ALT に笠利町の魅力を紹介し、「もっと笠利町のことを好きになってほしい」という思いをもたせながら学習を行っていく。単元終末の言語活動では、ALT に笠利の観光スポットや魅力を英語で伝える活動を設定する。本単元の活動を通して、相手意識をもって進んでコミュニケーションを図ることができるようにしたい。

ここで学んだ自分たちの地域のよさを英語で伝えるコミュニケーションの楽しさは、「We can! 2」“My Summer Vacation”, “My Best Memory”において、友達と自分の思い出を紹介し合う活動に継続、発展していく。

(2) 子どもの実態(調査人数 5年生5名 6年生6名 計11名 平成30年9月3日 質問紙法)

ア この学年での外国語活動で、英語を学習することに対して、どのように感じていますか。 ・ もっと好きになった (6) ・ 少し好きになった (4) ・ 変わらない (0) ・ 少し苦手になった (0) ・ 苦手になった (1)
イ 外国語活動の学習の中で、あなたはどんなことができるようになりたいですか。(複数可、自由記述) ・ 話せるようになりたい (10) ・ 文字を書けるようになりたい (3) ・ 文字を読めるようになりたい (1) ・ 動作で表せるようになりたい (1) ・ 笑顔で言えるようになりたい (1)
ウ 笠利町に初めて来た人に、笠利町を紹介するなら、どんなことですか？ また、いいところはどんなことですか。できるだけたくさん書いてください。 ・ 土盛海岸 ・ 打田原海岸 ・ あやまる岬 ・ 宇宿貝塚 ・ 宇宿漁港 ・ 奄美パーク ・ レストラン ・ アイスクリュー屋 ・ みやげ屋 ・ サトウキビ畑

○ 考察

アでは、本学級の子どもは外国語活動で英語を学習することに対して、概ね肯定的な回答をしている。その理由として「ゲームなどの活動が楽しい」という回答もあったが、それ以上に「言葉や表現をもっと知りたくなった」「もっと話せるようになりたい」など、学ぶ意欲の高まりが感じられるような回答が多かった。また、苦手になったと回答した子どもも、その理由として「前

に習った表現が言えない」「相手に伝わらない時が難しい」ことを挙げている。また、その子どもの普段の積極的な学習の様子から考えると、「学習したことを使えるようになりたい」「相手に思いや考えをもっと伝えたい」という思いが高まった一方で、現時点での自分の表現力が不十分であることを自覚したことにより苦手意を感じたものと推測される。

イの結果からは、多くの子どもが目標をもって意欲的に学習に臨んでいることが分かる。英語を話せるようになりたい理由としては、「外国の人と仲良くなりたいから」「どこに行ってもコミュニケーションをとれるから」という記述が見られた。また、その他にできるようになりたいこと理由でも「言い方が分からなくても動作などを加えることで相手に言いたいことを伝えられるから」など、相手とのコミュニケーションを図ることを視野に入れた記述が多く見られた。

ウでは、ほとんどの子どもが六つ設定した記述欄全てに、紹介したいことやそれぞれのよいところを記述することができていたことから、自分たちの住む笠利町の素晴らしさに気付くことができおり、他者にも紹介したいという意欲をもっていることが分かる。

(3) 指導上の留意点

本単元で子どもが使用すると予想される表現と語句を以下に記す。

(表現) “You can ~ (eat, see, buy, learn)”	“It’s ~ (beautiful, delicious)”
(語句) 海, 砂浜, 山, 景色, 公園, プール, 太陽, 歴史, さとうきび, 黒砂糖, 大島紬, お土産, 木, 釣り, 船, きれい, おいしい, たくさん	

授業づくり全般については、以下の点に留意する。

- 「以前に学習した表現が言えなかった。」という理由から苦手意識をもっている子どもがいたため、既習の「can」の表現を想起させ、おすすめの場所で「できること」も伝えられるようにする。
- 相手の言葉に対する反応の表現を豊かにするため、形容詞を用いて表現することで、自分の考えや気持ちをより詳しく伝えられるようにする。
- おすすめの理由として「おいしさ」を挙げている子どもがいた。「おいしい=delicious」だけではなく、可能な範囲で sweet, sour などの、味を豊かに表現できる言葉も使えるようにする。
- 会話の中で、学習している表現以外の挨拶の表現や、「聞き手の聞き方, 話し方」なども意識させることでコミュニケーション能力を育成し、会話をより豊かにできるようにしていく。

(4) 本校の研究との関連

ア 視点1について(子どもが主体的に活動する外国語活動の授業づくり)

- 単元導入時に ALT からのビデオメッセージを見ることで、単元終末の言語活動でどのような活動を行うのか見通しをもって活動を進められるようにする。
- 子どもが自信をもって伝えることができるように、地域を紹介する言葉 (We have~) やそこでできることの表現 (You can swim/buy/eat.) をゲームやチャンツなどを通して Input していく。また、Input したことを、友達に伝える活動を通して Output につなげるようにする。
- 文字の学習については、アルファベットの名称となぞり書き (6年: 大文字・小文字, 5年: 大文字) に慣れ親しむ過程にある。そこで、単元で出てきた語句 (場所など) の中から、自分で選んだ語句の綴りのアルファベットを読ませながらなぞり書きをさせることで、アルファベットの名称と字形を結び付けながら書くことができるようにする。

イ 視点2について(複式の特徴を生かした指導)

- この単元は、両学年とも初めて出会う表現を扱う。しかし、6年生はこれまでの学習を通して、動作表現や質問の仕方についていろいろな表現を経験してきているので、Output で求める語句の量的な違いや既習表現を変えることで学年別活動を行うようにする。更に学年別活動の後に、共通活動の場を設定することで、6年生は既習の内容を生かした表現に慣れ親しむことができるようにする。また、5年生には、6年生の表現を聞かせることで、次年度の学習の見通しをもたせるようにする。

6 指導計画 (全9時間) 【C】:チャンツ 【L】:Listen 【G】:Game 【W】:Write 【言】:言語活動
 (「コ」:コミュニケーションへの関心・意欲・態度), 「慣」:外国語への慣れ親しみ, 「気」:言語や文化に関する気付き)

時間	学習課題と主な学習活動	指導上の留意点 (◎は共通の留意点)		評価の観点		
		5年生	6年生	コ	慣	気
1	ALT や観光客に笠利町を紹介することを知り, おすすめの場所を伝えるために学習したいことを考える。 【L】:ALT の自己紹介 表現:I am ~. I like ~. We have ~. It's ~.	◎ ALTからのビデオメッセージを見せることで, 単元終末の言語活動の見通しをもたせ, 学習への意欲を高める。 ◎ ALT の自己紹介の仕方から, 新しい表現に気付かせる。(I am ~.) ◎ ALT のおすすめの話や写真から, 景色や文化の違いに気付かせる。 ◎ ALT の名前の綴りを伝えることで, アルファベットの名称を意識させながら, 書くことに取り組みさせていく。		○		○
2	笠利町にある場所の言い方に慣れ親しむ。 【C】:場所 【G】:カルタ 【W】:場所 表現:I like ~. Do you like ~. We have ~. 語句:場所	◎ 写真を掲示しながら笠利町の様々な場所の名前を言わせることで, 語句と具体的なイメージと合わせながら慣れ親しめるようにする。 ◎ カルタなどのゲームを通して, おすすめの場所を表す語句を, Input できるようにする。			○	○
3 (本時)	笠利町にある紹介したいものを伝える言い方に慣れ親しむ。 【G】:場所 【G】:町作り (学年別活動) 【W】:場所 表現:I like ~. Do you like ~. We have ~. 語句:スポーツ (baseball, …) 食べ物 (mango, …)	◎ 場所を表す語句を地図上に掲示することで, 「町には～がある。」という表現に気付けるようにする。 ○ 友達に自分の好きな場所を紹介する活動を設定する。 ○ 語句 (大文字) を4線上になぞり書きさせる。	○ 友達に好きかどうか尋ねながら, 好きな場所を紹介する活動を設定する。 ○ 語句 (小文字) を4線上になぞり書きさせる。	○	○	
4	いろいろなおすすめの様子を表す表現に慣れ親しむ。 【L】:場所 【G】:ペア作りゲーム (学年別活動) 【W】:場所 表現:Do you like~? I like ~. It's (sweet, sour, delicious) (fun, exciting, …). 語句:食べ物 (mango, passionfruit, …)	◎ おすすめの場所を伝える表現を振り返ることで, なぜ好きかその理由を詳しく表す表現に気付かせる。 ○ 簡単な会話の中で, 好きなものを伝える活動を設定する。	○ 好きなものを伝えたり, 友達に尋ねたりする活動を設定する。		○	○

5	<p>おすすめの場所のできることを伝える表現の仕方を知る。</p> <p>【C】：場所 【G】：ジェスチャーゲーム 【W】：場所</p> <p>表現：We have～. We /You can ～. 語句：場所 (beach, restaurant・・・) 動作 (see, eat・・・)</p>	<p>◎ 自分でオリジナルの町を作り，どんなものがあつたらいいのか理由も考えさせることで，そこのできることの表現を Output できるようにしていく。</p>			○	○
6	<p>自分の町にあつたらいいなど思うおすすめの場所を伝える表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】：建物・場所 【G】：町作りゲーム (学年別活動) 【W】：場所</p> <p>表現：We have～. We /You can ～. It's～. 語句：場所 (beach, restaurant・・・) 動作 (see, eat・・・)</p>	<p>◎ 自分のオリジナルの町を作り紹介するゲームをしながら，たくさんの友達とおすすめの場所を伝え合えるようにする。</p> <p>◎ 友達とオリジナルの町について紹介し合うことで，同じ場所でも，できることやおすすめに違いがあることに気付かせる。</p>	○	○		
		<p>○ 簡単な会話の中で，おすすめの場所を伝え合えるようにする。</p> <p>○ 簡単な会話の中で，おすすめの場所とその理由を伝え合えるようにする。</p>				
7	<p>ALTにどのような表現を使って伝えるか考えたり，ポスターを作成したりする。</p> <p>【言】：発表作成 【W】：紹介したい場所</p> <p>表現：We have～. We /You can ～. It's ～. 語句：場所 (beach, restaurant・・・) 動作 (see, eat・・・)</p>	<p>◎ 分かりやすく伝えるために，文字で表現するよさにも気付かせ，ポスター作りを通して書く活動に取り組みさせていく。</p> <p>◎ その場所では，何ができるかを尋ねることで，“I can～. You can～.”を想起させる。</p> <p>◎ 町のおすすめを相手に分かりやすく伝えるために，既習表現も使ったり，聞き方・話し方にも気を付けたりしながら話せるようにする。</p>	○			○
8・9 (ALT)	<p>笠利町のおすすめの場所をALTに紹介したりALTの国のおすすめの紹介を聞いたりする。</p> <p>【言】：おすすめの紹介</p> <p>表現：We have～. We /You can ～. It's ～. 語句：場所 (beach, restaurant・・・) 動作 (see, eat・・・)</p>	<p>◎ 笠利町の町のよいところを，ポスターを使いながらALTに紹介させる。</p> <p>◎ ALTも自分の国のおすすめを紹介する。</p>	○			○
		<p>○ おすすめの場所を基本的な表現でALTに紹介させる。</p> <p>○ ALTの紹介したおすすめ場所について反応しながら聞かせる。</p> <p>○ おすすめの場所をいくつか理由挙げながらALTに紹介させる。</p> <p>○ ALTの紹介したおすすめ場所について，反応したり，質問したりしながら聞かせる。</p>				
<p>【本単元で目指す子どもの表現例】 (6年生)</p> <p><自己紹介> A:子ども B:ALT</p> <p>A:Hello! B:Hello! A:I am(Taro). T-A-R-O, Taro. I like volleyball. Nice to meet you. B:I am (Mike). M-I-K-E, Mike. I'm from America. I like baseball. Nice to meet you. A:Oh, America? Nice.!</p>		<p><おすすめ場所紹介(グループ)></p> <p>A:I like Kasari. We have the Tomori beach. It's beautiful . B:Nice! A:And you can swim. B:Good! A:Thank you for listening. B:Thank you.</p>				

7 基本的な語句や表現の Input と導きたい Output の系統 (下線部は、第5学年との違いを表す。)

時	5年生		6年生	
	Input	Output	Input	Output
1	We have ~. It's ~. 場所 I like ~.		We have ~. It's ~. 場所 <u>Do you like ~?</u>	
2	場所 We have ~.		場所 We have ~	
3	We have ~. It's ~. 形容詞 (beautiful/ delicious/sweet/sour/ fun/exciting)	場所 (なじみのある語) I like ~.	We have ~ It's ~ 形容詞 (beautiful/ delicious/sweet/sour/ fun/exciting)	<u>場所</u> <u>Do you like ~?</u> <u>Yes, I do.</u> <u>No, I don't.</u>
4	It's ~. 形容詞 (第3時と同) We have ~	We have ~	It's ~. 形容詞 (第3時と同) We have ~	We have ~
5	You can see/eat/buy/ ~.	It's (delicious/fun/ beautiful) .	You can see/eat/buy/ ~.	You can ~. <u>It's (sweet/bitter/ sour...)</u>
6	Welcome to Kasari.	It's ~ (形容詞) . You can ~. ※選択して表現。	Welcome to Kasari.	It's ~ (形容詞) . You can ~. ※組み合わせで表現。
7	Welcome to Kasari.	Welcome to Kasari.	Welcome to Kasari.	Welcome to Kasari.
8		I am ~. (My name is ~.) I like ~. We have ~.		I am ~. I like ~. <u>Do you like ~</u>
9		You can see/eat/play ~. It's ~. (※選択)		We have ~. You can see/eat/play ~. It's ~.

8 本時

(1) 目標

< 5年生 >

< 6年生 >

<ul style="list-style-type: none"> 笠利町のおすすめの場所について紹介をしたり、友達のおすすめの場所を聞いたりしようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (主体的に学びに取り組む態度) おすすめを紹介する表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】 (知識・技能) (思考・判断・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>友達に好きかどうか尋ねながら</u>笠利町のおすすめの場所について紹介をしたり、友達のおすすめの場所を<u>積極的に</u>聞いたりしようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (主体的に学びに取り組む態度) おすすめを紹介する表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】 (知識・技能) (思考・判断・表現)
--	--

(2) 本時の展開 (3 / 9 時間)

(・) : 活動 (○) : 指導上の留意点

時間	学習課題と主な学習活動	各学年の活動及び指導上の留意点, ALT との連携		
		5 年生	6 年生	
導入 (10)	<p>1 Warm up</p> <p>(1) あいさつをする。</p> <p>(2) アルファベットジングル</p> <p>(3) Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大崎町のおすすめの場所 <p>2 Today's Task</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>笠利町にあるおすすめの場所を伝える言い方になれよう。</p> </div>	<p>○ アルファベットジングルを扱うことで, 文字の音に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>○ 担任の前任校の町のおすすめを紹介することで, 子どもが ALT に紹介する際のイメージがもてるようにする。</p>		
展開 (30)	<p>3 Activity</p> <p>(1) Input</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所を表す語句を振り返る。 <p>【G】 場所</p> <p>【G】 町作りゲーム</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《ルール》</p> <p>① 11枚のカードから好きな場所を選ぶ。</p> <p>② 友達に, 好きな場所を一つ伝える。</p> <p>③ 全員が同じ場合は, 町のおすすめの場所となる。</p> <p>④ 町のおすすめができたなら, 一緒に “We have ~.” という。</p> </div> <p>(2) Output</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通活動で他のグループに自分たちのおすすめの場所を伝える。 <p>【言】 学級のおすすめの場所</p> <p>【W】 おすすめの場所の語句をなぞり書きする。</p>	<p>○ 一斉に言わせることで, 自信のない子どもも安心して振り返ることができるようにする。</p> <p>○ 写真を地図上に掲示していくことで「町には～がある。」という意識をもたせながら, “We have ~.” の表現を Input できるようにする。</p> <p>○ 絵カードには, 補助的に文字を示すことによって, 視覚的にも文字に慣れ親しめるようにする。</p>	<p>(5 年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “I like ~.” を使い, 自分の町のおすすめの場所を言ったり相手のおすすめの場所を聞き取ったりする。 ・ おすすめの場所の語句 (大文字) をなぞり書きする。 	<p>(6 年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “Do you like ~?” を使い, 相手に尋ねながら, 自分のおすすめの場所を伝えたり, 相手のおすすめの場所を聞き取ったりする。 ・ おすすめの場所の語句 (小文字) をなぞり書きする。
		<p>○ 各グループの町のおすすめを紹介し合う共通活動を行うことで, 相手に “We have ~.” の表現を使って紹介できるようにする。</p> <p>○ 語句の綴りを口に出しながらなぞり書きをすることで, 語句はアルファベットのつながりであるということを意識させる。</p>		
終末 (5)	<p>4 Review</p> <p>(1) 学習したことを振り返る。</p> <p>(2) あいさつをする。</p>	<p>○ 場所の語句に慣れ親しんだことや “We have ~.” の表現に関する気付き, ALT へ紹介することへの意欲などの記述をしている子どもを意図的に指名することで, 共有化を図る。</p>		